安曇野の美

境内御社　保食社



◇御祭神
宇気母智命（うけもちのみこと）

☆例祭日
四月八日（未社祭）
若宮社、子安社、事比羅社、四神社と共に未社祭として行われています。保食社としては、養蚕を始め五穀豊穣を祈る祭になります。

◆御祭神について

『日本書紀』の神産みの段、第十一の一書にのみ登場する神です。「うけ」は「うか」と通じ、穀物や食物を総称する言葉とされています。「うけもち」とは「食物を司る」という意味であり、このことから五穀の神として信仰されています。

◆神話での記述

天照大御神（あまてらすおおみかみ）は月読命（つくよみのみこと）を宇気母智命のもとに行くように命じました。宇気母智命は鰭広物【大きな魚】、鰭狭物【小さい魚】、毛麁物【大きな獣】、毛柔物【小さい獣】を口から出して百机に備えて月読命をもてなしました。しかし、そのありさまを見た月読命は大いに怒り、剣を抜いて打ち殺してしまいました。このこと聞いた天照大御神が天熊大人（あめのくまうし）を遣わして様子を調べました。すると、宇気母智命の死体の頂から牛馬が成り、腹の中に稲が成り、陰（ほと）に麦や大小豆が生じていました。天熊大人がこれらを取って天照大御神に献上すると、天照大御神は大いに喜び、これらは皆、人間が食べるものであるとして、粟（あわ）、稗（ひえ）、麦、豆を畑の種とし、稲を水田の種としました。

この神話は穀物起源神話の一種とされ、『古事記』の大宜都比売（おおげつひめ）と須佐之男命（すさのおのみこと）の神話に類似していることから、宇気母智命を大宜都比売と同一神とみなす説もあります。

発行所
穂高神社社務所
創刊　昭和52年2月
〒399-8303
長野県安曇野市穂高6079
電話　0263-82-2003
FAX　0263-82-8770

交通安全祈願
車を買ったら穂高神社

氏神さま、氏子について

氏神さまとは自らの住む土地をお守りくださる神様のことで、その土地の暮しや生業を営む人達を氏子と言います。いつの時代にもこの土地に住む人々の生活や未来にわたる安寧を願う心が神の心と共に守ってくれています。日頃から氏神さまとのご縁を大切にいたしましょう。安曇野市穂高、等々力区・等々力町区・穂高町区・穂高区の氏神さまは穂高神社となります。

インスタグラム　ホームページ

令和七・八年度穂高神社歳時記（十二月から六月）

十二月三十一日　大祓式（茅の輪くぐり神事）除夜祭
一月　一日　元旦祭・新春一番祈祷
一日～八日　氏子・崇敬者安全祈願
聖寿万歳・天下泰平祈願祭
新春祈願交通安全祈願大祭
二月　三日　厄除・八方除特別祈祷祭
三月　十七日　満願祭
十三日　節分祭　竈神祭
十七日　奉射祭、祈年祭（安曇野市無形民俗文化財）
十八日　翌日祭
二十三日　秋葉社　宵祭
四月　二十四日　秋葉社　本祭
五日　勧学祭
八日　末社祭（子安社、若宮社、事比羅社、保食社、四神社）
十二日　諏訪社祭
十七日　厳島社例祭　宵祭
十八日　厳島社例祭　本祭・道祖神祭
十九日　穂高霊社例祭　宵祭
二十日　穂高霊社例祭　本祭（平和祈願祭）
二十四日　菅原社宵祭
五月　二十五日　菅原社本祭
二日　二十七日　上高地開山祭
六月　三十日　わさび御料圃祭（靖国神社神職奉仕）
大祓式（悪事災難除け祈願）

御船祭盛大に斎行

去る九月二十六日の宵祭から二十七日の本祭にかけて、子孫繁栄・五穀豊穣を祈る例祭（御船祭）が本年も盛大に斎行されました。

天候に恵まれ、多くの参拝者が訪れ、境内は終日賑わいを見せました。穂高人形が飾られた御船が神楽殿を周り、勇壮にぶつかり合う大人船の姿に、多くの参拝者が見守り、カメラにその光景を収めていました。






また、本年の奉納ステージは二日間にわたり、一日目は神楽殿、二日目は南神苑特設ステージにて行われました。

唄や演奏、舞踊、猿回しなど多彩な奉納があり、多くの方々のご参加を得て賑やかに催されました。

さらに二日目には、奉納ステージとは別に、福岡県よりお越しの団体が神楽殿にて太鼓と日幸知氏のライブペイントの奉納パフォーマンスを行い、その場で描かれた作品を奉納してくださいました。






奉納 氣龍画師
日幸（かさい） 知（とも） 氏

奥宮例祭「御船神事」

上高地が色鮮やかに染まりはじめた十月八日、明神池畔にて奥宮例祭が厳かに斎行されました。神事に続いて、龍頭鷁首（りゅうとうげきしゅ）の御船二艘が明神池を一周する「御船神事」が行われました。秋晴れのもと、多くの参拝者が訪れ、荘厳に進む御船の姿をカメラに収めていました。このお祭りは、上高地が紅葉に包まれる時期に行われることから「紅葉まつり」とも呼ばれ、秋の風物詩として親しまれています。

例祭の後には「日本アルプス遭難者慰霊祭」が執り行われ、全国各地から参列された遺族の方々が御霊の安鎮を祈りしお慰めになられました。






●正月のあれこれ

本来、正月とは、一年のはじめに「年神様（としがみさま）」をお迎えする行事です。日本では、古くから季節の節目に祖先の御霊をまつり、五穀豊穣を祈る習慣がありました。なかでも新しい年を迎える正月は、特に大切にされ、盛大に行われてきました。現在では、元旦から三日までの「三が日」や、松の内（七日または十五日まで）をさして「正月」と呼ぶのが一般的になっています。「正」という字には「年のはじまり」という意味があります。

正月を迎える前に行う煤払い（すすはらい）や、門松・しめ飾りを飾ることは、すべて年神様をお迎えする準備です。

正月の年神様は、一家を守る守護神であり、祖先の神様でもあると考えられています。その神様をお迎えするにふさわしい清らかな場所を整え、一年の繁栄と幸せを祈るそれが、正月という行事の本来の意味といえます。

年の暮れには神棚をきれいに清らかに整え、新しいお札（神宮大麻と氏神様のお札）をお祀りして、気持ちよくお正月を迎えましょう。



●注連縄と注連飾り

注連縄には、神様をお祀りするにふさわしい神聖な場所であることを示す意味があります。また、注連縄は結界の役割を果たし、その内側に不浄なものが入らないようにする役目も担っています。

注連飾りは、注連縄に縁起物などの飾りを添えたもので、年神様をお迎えするにふさわしい清らかな場所であることを表すものです。注連縄やしめ飾りには、ごぼう注連・玉飾り・輪飾りなど、用途や地域によってさまざまな種類があります。飾る時期は、大掃除を終えた後、十二月二十八日頃までを目安にするとよいでしょう。

●元旦祭（がんたんさい）

元旦祭は、大東亜戦争前の祝祭日の中の皇室祭祀令に基づく祭祀の一つです。現在では新暦一月一日（元日）に宮中三殿（賢所・皇霊殿・神殿）で行われる年始を祝う祭祀として行われます。また、伊勢の神宮を始め全国の神社においても、新しい年の平安と豊かな実り、そして人々の幸福を神様に祈る、年のはじめの大切な神事として行っています。

令和八年の正月は大変多くの方がご参拝になり、混雑が予想されます。お越しの際は安全に気をつけて良いお正月をお過ごしください。



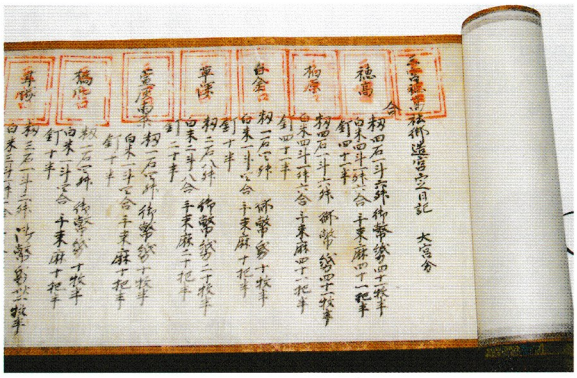
三宮穂高社御造宮定日記

『三宮穂高社御造宮定日記』は、室町時代に細萱氏・仁科氏の命により、各郷が御造営の用材や賄いを献上したことを記した巻物です。

穂高神社の御遷宮がいつ頃から始まったのかは明らかではありませんが、神社に伝わるこの『三宮穂高社御造宮定日記』の最も古い巻には、文明十五年（一四八三）二月三日の日付が記されており、室町時代後期には七年ごとに社殿の造り替えが行われていたことがうかがえます。すなわち、この頃にはすでに七年に一度の式年遷宮が行われていたと考えられ、この巻物は当社の歴史を知る上で極めて重要な史料となっています。

現在残されているこの日記の最後の記録は天正十三年（一五八五）で、仁科氏が取り仕切っていますが、全十一巻から成り、その記録には一〇三年間にわたる十一度の御造営が記されています。途中、記載の欠落した年もあるため、実際に行われた御造営の回数はさらに多かったと考えられます。

この資料は、明応十年（一五一〇）に仁科氏の被官である清水石見守盛好および矢口備前守知光によって出されたものです。



穂高神社資料館　御船会館

例祭「御船祭」で曳き出されるお船を実寸大で再現した二艘のお船をはじめ、穂高神社や安曇野の文化を知るうえで貴重な資料・神宝、長野県の無形文化財に指定されている穂高人形の飾り物などを展示しております。

また、お正月には企画展の開催も予定しておりますので、ぜひお越しください。

入場料三〇〇円

新春祈願・交通安全祈願大祭のご案内

鈴の音に祈りを込めて初まいり

神気改まる年明けとともに大切に使用されているお車のお祓いや、一年間の交通安全と諸祈願の成就をお祈りにお越しいただきますよう謹んで新春祈願大祭のご案内を申し上げます。

一、期　間　一月一日～八日
（受付八時～十六時三十分）

一、内　容　交通安全、家内安全、事業繁栄、商売繁盛、厄除、八方除、合格祈願、学業成就、病気平癒、身体健全、開運厄除、心願成就、安産祈願、初宮参り、初誕生祝い、災難除、職場安全、子授成就、良縁祈願、お礼参り、他願い事

一、御祈願初穂料（祈祷料）

祈　祷	五、〇〇〇円
普通祈祷	七、〇〇〇円
特別祈祷	一〇、〇〇〇円　以上

交通安全祈願（車のお祓い）

祈　祷	一台につき　五、〇〇〇円
普通祈祷	一台につき　七、〇〇〇円
特別祈祷	一台につき　一〇、〇〇〇円

（金額によりお渡しする授与品が変わります。二台目から二輪車、普通者は三、〇〇〇円増し。大型車は四、〇〇〇円増しとなります。）

●郵送祈祷、お札・お守りの郵送のご案内

遠方にお住まいの方や様々なご事情により御参拝が叶わず御祈祷・お守りを受けられない方々のために郵送等による御祈祷・お守りの授与を承っております。ホームページの郵送祈祷、お札・お守りの郵送授与をご覧いただくか電話で申し込みください。

厄除・八方除・十三参り　特別祈祷祭のご案内

令和八年を迎え厄年・八方塞がりに当たる方はお祓いをお受けになり、大神様の御加護のもと平穏無事で　明るく充実した生活をお送り下さい。

古来より厄年は人生において心身の節目や責務の重い時期で、事故・病気・災難など障害の起きやすい年廻りとされ、十三参りは干支が一巡することから子供から成人となる節目とされています。

厄年一覧表

（数え年）

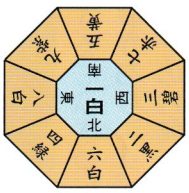
	男性			女性		
	前厄	本厄	後厄	前厄	本厄	後厄
男女共通十三参り	平成15年生 25歳	平成14年生 平成26年生	平成13年生 昭和40年生	平成7年生 19歳	平成6年生 平成20年生	平成5年生 平成19年生
	昭和61年生 大厄42歳	昭和60年生 昭和41年生	昭和59年生 昭和40年生	平成3年生 37歳	平成2年生 昭和64年生・平成元年	昭和64年生・平成元年 昭和40年生
	昭和42年生 61歳	昭和41年生 昭和41年生	昭和40年生 昭和40年生	平成21年生 大厄33歳	平成20年生 平成19年生	平成19年生 昭和40年生
	平成15年生 61歳	平成14年生 平成26年生	平成13年生 昭和40年生	平成7年生 37歳	平成6年生 平成5年生	平成5年生 昭和40年生

「八方塞り」

九星は人間の運勢や吉凶の判断に用いる九つの星のことで、九星年盤の中央に入る星を本命星といいます。

本命星にあたる方が八方塞がりの年で、周囲八方がふさがれ、避ける方位は八方どの方位方面にもなく、手の打ちようのない不安定な年廻りとされています。

九星年盤
令和八年
八方ふさがりの方
（一白水星・男女）



■男・女八方塞りの年まわり表　数え年

一白水星	生まれ年	平成29年	平成20年	平成11年	平成2年	昭和56年	昭和47年	昭和38年	昭和29年	昭和20年
	年齢	10歳	19歳	28歳	37歳	46歳	55歳	64歳	73歳	82歳

【高齢の厄年】

生まれた年の干支がもとの干支に戻る還暦を長寿の祝とした六十歳の翌年が通常の厄年の最後であったことから、現在では長寿祝を迎えた年（古希七十歳、喜寿七十七歳、傘寿八十歳、米寿八十八歳、卒寿九十歳）の翌年が高齢の厄年です。　数え年

男女共通					
年齢（祝歳の翌年）	71歳	78歳	81歳	89歳	91歳
生まれ年	昭和31年生	昭和24年生	昭和21年生	昭和13年生	昭和11年生

霊験あらたか金幣祓い
厄除・八方除の特別祈祷祭は
一月十一、十二、十三日に斎行致します。

一番祈祷のご案内

『ひとりひとりが受けられる願い事成就の金幣祓い』

年明け午前0時の時報とともに、初春のよろこびを神様にお告げし、天下泰平をお祈りする元旦祭に引き続いて、新年の一番祈祷を斎行致します。

二年参り・初詣には様々な願いを心にいだき祈られる事と存じます。

そんな多くの願いを必ず叶えていただけるよう、新年の一番初めに巫女舞を奉納する一度しか行われない大変貴重なご祈祷です。

一、祈祷料　一〇、〇〇〇円

お申し込みは、(十二月三十日迄に)電話・ファックス・メール・インターネットにてご予約下さい。

当日申込みの方は、三十一日午後十一時より十一時半まで受付致します。ご予約済みの方は午後十一時四十五分までに拝殿授与所までお越しください。

尚、ご参列不可能な場合は祈祷後、御神札等郵送致します。

●穂高神社神徒会臨時総会開催

穂高神社神徒会では、毎年三月の春季慰霊祭に併せて総会を開催しています。

令和六年十二月三十一日に、北穂高地区の副会長を務めていた髙山直樹氏がご逝去され、役職が空席となっていたため、このたび九月二十日の秋季慰霊祭に併せて臨時総会を開催いたしました。

当日は参加人数が限られる中ではありましたが、北穂高地区より丸山菓子舗の丸山明男氏を副会長に選任いたしました。

また、これまで幹事を務めておられた丸山茂氏に代わり、穂高地区の岡村富充氏が新たに選任されました。

崇敬会入会のご案内

安曇野が誇りとする式年遷宮祭や心と技を捧げる御船祭は、長い歴史の中で培われた安曇野の文化と信仰を象徴しています。

穂高の大神様は、海の恵みと山（陸）の幸を併せ持つ御神徳で誠に広大無辺であります。

皆様方には穂高の大神様とより一層深い御神縁を結ばれ生き生きと栄え日々御護り頂けますよう「穂高神社崇敬会」へ一人でも多くの方にご入会頂きたくお勧め申し上げます。

会員種別入会金（年会費）

一、個人会員　三、〇〇〇円
一、法人会員　五、〇〇〇円
一、名誉会員　一〇、〇〇〇円
◎特別会員
穂高神社氏子（安曇野市穂高等々力区・等々力町区・穂高町区・穂高区在住）に限る　一、〇〇〇円

●師走の大祓式

日常生活の中で知らず知らずの内に犯した過ちや、身にふりかかった穢れを祓い清め、心身ともに清浄となる神事です。

氏子の皆様には一家に一体人形を配布致しますので、氏名と生年月日をご記入の上、初穂料（五〇〇円以上のお志）を添えて当日までに氏子総代もしくは社務所へお納めください。

日時　十二月三十一日　午後三時斎行
場所　社務所前
どなたでもご参加できます

茅の輪を拝殿前に十二月二十日～十二月三十一日まで設置いたします。参拝の折には、茅の輪をくぐり抜け半年間の罪・穢を祓い清めて下さい。

☆初穂料　三、〇〇〇円以上の方は神符を後日送付いたします。
三、〇〇〇円以上・・大祓守
五、〇〇〇円以上・・大祓神札・大祓守

※人形袋の裏面の記載事項へ必ずご記入ください。



第三十八回「秘めたる穂高の工芸作家二十人展」

安曇野穂高が世界に誇る膳芸家、故髙橋節郎先生をはじめ、各分野で活躍する先生方より作品を出展いただきます。

日程　一月一日～三日
午前九時～午後四時三十分
場所　穂高神社　参集殿
入場無料



初詣特別御朱印



頒布期間
1月1日～1月31日
初穂料　500円

三九郎　一月十二日

歳神様を送る行事で、火で焼いた餅や団子を食べると一年を健康に過ごせ、書初めを火にくべた時に高く上がると「字が上手くなる」と言われています。餅つきも行い、お雑煮・おしるこを振舞います。

日程　一月十二日（月）
場所　正午頃ふるまい、終了後点火
穂高神社南神苑



高校・大学受験、資格、就職　特別合格祈願祭

期日　一月十七日（土）・十八日（日）
午前八時三十分～午後四時三十分
祈願料　五、〇〇〇円・七、〇〇〇円・一〇、〇〇〇円
※一〇、〇〇〇円のご祈祷には、合格のぼりを天神様に奉納致します。

特別合格祈願祭は、拝殿にてご祈祷をし、合格守・絵馬・記念品をお授けします。

絵馬に願い事を記入し、境内の天神様絵馬掛けにご奉納下さい。

ご受験当日早朝に再度御祈願申し上げます。



節分豆まきのご案内

令和八年 年男・福女募集

来る令和八年二月三日午後四時に行われる節分祭の豆まきに、ご奉仕いただける方を募集いたします。ご希望の方は、神社までお知らせ下さい。

◎参加料：五、〇〇〇円

神楽殿より福豆（景品付き）福銭をまきます。皆様のご参拝をお待ちしております。

※状況により、変更・中止となる場合があります。

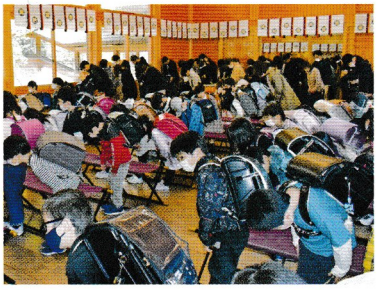


勧学祭（入学祝い）のご案内

この春小学校に入学される児童の学業成就と健やかな成長、また通学路の安全・安心を願う勧学祭を行います。

ご参列の入学児童には学業成就のお守り・お菓子をお授けいたしますので、ご参列下さいますようご案内申し上げます。

期日 令和八年 四月五日（日） 午前十時より 参列無料です 九時五十分に神社拝殿にお越しください



ランドセルのお祓いをしますのでランドセルを背負って集合してください。

●浦安の舞「舞姫募集」

令和八年子供祭、御船祭に浦安の舞を奉納します。

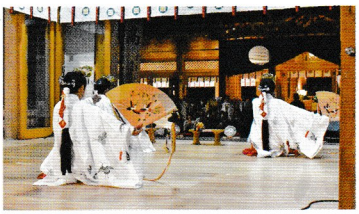
【奉納日】子供祭：九月五日(土)、六日(日)
御船祭：九月二十六日(土)、二十七日(日)

※夏休みを中心に十回程度練習します。

【募集人員】

氏子地区内（等々力区・等々力町区・穂高町区・穂高区）在住の小学四年生から六年生十名程定員になり次第締め切らせていただきます。

六月三十日までに社務所にお越しいただくか、お電話にてお申し込み下さい。



新入職員紹介



小平方則（こだいらまさのり）
安曇野市穂高 26 歳

今年四月より穂高神社にて出仕を拝命いたしまして、ご奉仕させていただいております。

昨年四月に皇学館大学神道学専攻科に入学し、一年間神社界について勉強してまいりました。奉職させていただくのは穂高神社が初めてであるため、社頭に立って奉仕することについては右も左もわからない未熟者ではありますが、宮司さんをはじめ、職員の方々にお助けやご指導いただき、日々の社務を務められていることに心から感謝いたします。私にとっては全てが初めてであり、至らぬ点や様々な失敗もありますが、奉仕の日々一日一日を大切に勉強し、何事にも積極的に取り組めるよう努めて参ります。今後とも宜しくお願い致します。

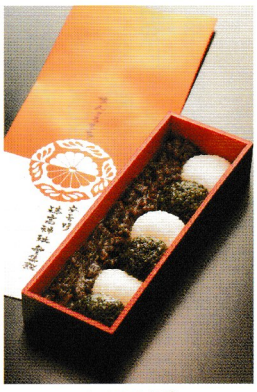
ご参拝おみやげ

御神米



1,000円

あんころもち



1,000円

穂高神社参集殿にて販売しております
平日は販売していない日がありますのでお問合せください

年祭・直会（ご会食）承ります

◆直会のみ、お料理をご自宅へ配達、お持ち帰り用の「折弁当」もご用意できます

◇神葬祭も行えます。

お持ちいただくのは御霊代と御遺影のみです

神々の縁に抱かれて
穂高神社本宮
上高地　奥宮　結婚式承ります

お料理の予算等お気軽にご相談ください

イベントなどの会場使用もできます

【ご予約・お問合せ】
0263-82－0118

穂高神社参集殿
和美庭（なごみてい）